

【IPv6によるインターネットの利用高度化に関する研究会】プレゼン資料

第四次報告書2016年度進捗状況フォ ローアップ調査以降の状況

2017年10月16日

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会

ISPにおけるIPv6接続サービス及びAAAAフィルタの適用状況アップデート



		前回調査(2017年2月)				今回調査(2017年10月)			
会社名	サービス名	IPv6提供方式	デフォルト提供の対象	備考	AAAAフィルタ適用状況	IPv6提供方式	デフォルト提供の対象	備考	AAAAフィルタ適用状況
朝日ネット	ASAHIネット	NGN IPoE	新規/転用申込者(※2)	2017年4月頃から提供開始予定(全国)	適用(※1)	NGN IPoE	新規/転用申込者(※2)	2017年4月提供開始(全国)	適用しない
ビッグロブ	BIGLOBE	NGN IPoE	新規/転用申込者(※2)		適用しない	NGN IPoE	全利用者(※5) 2017年4月開始	弊社がIPoEを直接利用	適用しない
KDDI	auひかり	ネイティブ	全利用者		適用しない	ネイティブ	全利用者		適用しない
	au one net Bフレッツコース	NGN IPoE	デフォルト提供なし(要申込)	au one net フレッツ光コース	適用(※1)	NGN IPoE	デフォルト提供なし(要申込)	au one net フレッツ光コース	適用(※1)
NTTコミュニケーションズ	OCN	NGN PPPoE	全利用者(※4)	全国展開は今年度中の完了予定。	(※6)	NGN PPPoE	全利用者(※4)	全利用者の全国展開完了	(※6)
						NGN IPoE	全利用者(※5)	2017年7月開始	適用しない
NTTぷらら	plala	NGN PPPoE	全利用者(※4)		(※3)	NGN PPPoE	全利用者(※4)		(※3)
						NGN IPoE	(※7)	2017年6月開始	
ソニーネットワークコミュニケーションズ	So-net	NGN PPPoE	全利用者(※4)		(※3)	NGN PPPoE	全利用者(※4)		(※3)
						NGN IPoE	新規/転用申込者(※2)		適用しない
	NURO光	ネイティブ	全利用者		適用しない	ネイティブ	全利用者		適用しない
	Bit-drive	NGN PPPoE	全利用者(※4)		(※6)+(利用者が手動設定)	NGN PPPoE	全利用者(※4)		(※6)+(利用者が手動設定)
TOKAIコミュニケーションズ	@TCOM TNC	NGN PPPoE	全利用者(※4)		(※3)	NGN PPPoE	全利用者(※4)		(※3)
ニフティ	@nifty	NGN IPoE	新規/転用申込者(※2)		適用していない	NGN IPoE	デフォルト提供なし(要申込)	デフォルト提供再開に向けて検討中	適用しない

- ※1 IPv6接続向けにはAAAAフィルタ無しのDNSサーバを用意
- ※2 既存利用者は申込要
- ※3 DNSサーバへIPv4で問い合わせの場合、AAAAフィルタあり。同じくIPv6で問い合わせの場合、AAAAフィルタなし
- ※4 HGW,ひかり電話アダプタ、対応アダプタやルータが必要
- ※5 既存ユーザは順次移行予定
- ※6 IPv4のみのユーザには適用 デュアルユーザには適用なし
- ※7 NGN IPoEについては、一部エリアでは新規、転用はデフォルト提供、既存は申込み制 それ以外のエリアでは申込み制

中小・地域ISPにおけるIPv6サービス提供の状況



中小・地域ISPでもIPoE方式でのサービス提供が増えている。

一例

- JET Internet (宮城県)
- インターリンク (東京都)
- ネットフォレスト (神奈川県)
- シナプス (鹿児島県) 12月1日提供開始予定
- マンダラネット (徳島県) 11月提供開始予定

第三次報告書第二次プログレスレポートで課題とされた PPPoEアダプタ機能とHGWの一体化の状況



- ▶ HGW内へのPPPoEアダプタ機能搭載は、現在 NTT東西と個別で契約を締結したPPPoEでIPv6を提供する大手ISP 8社の利用者に対し提供中 (2014～順次)
- ▶ 本機能2019年7月には無償で公開され、NTT東西と個別に契約を締結しないISPの利用者も利用できるようになる予定。(ただし、ISP側でもIPv6 PPPoE方式に対応する必要がある。)

IPv6の普及を機にしたブロードバンド 関連用語の標準化に向けた活動について



背景、目的

1. インターネットの各種設定を行う際、用語が統一されていないことで、ユーザの混乱やサポートの長時間化など不利益がおきている
2. ISPやルータ等のメーカー毎に、各種用語が統一されていない
3. スマホ、タブレットなどの普及でユーザ層が広がっており、新たなユーザ層への対応も必要
4. IPoEなどIPv6の普及を機にあらためてブロードバンドの関連用語の標準化を図り、ユーザ利便性を向上する

方法

- JAIPAにてWGを設置し、会員以外の関係者も招聘して各種用語の標準用語を策定する。
- WGメンバー予定
- ISP、メーカー、消費者団体等

成果の取り扱い

1. サポートや製品マニュアル、販売員の教育等に活用できるように標準的な用語を公開。標準的用語に対する各事業者の対称用語を掲載。JAIPA：Webサイトで公開（適宜Updateするため）
2. 「消費者保護及びIPv6利活用促進の観点から用語を利用していくことが望ましい」との記載で推奨し関係者の利用を後押し。
3. 必要に応じてISP、ブロードバンドルータベンダへのサポート、提案を行っていく。
4. 各種用語を変更してしまうことが難しい場合は、併記等などの工夫を促す